



# 個人投資家向けオンライン会社説明会

株式会社ラクト・ジャパン  
東証プライム市場（証券コード3139）

2025年9月10日（水）

## ラクト・ジャパンとは

- ✓ 乳原料・チーズを中心に食肉・加工品、機能性食品原料なども扱う  
食品原料の輸入商社
- ✓ 強みは、グローバルな調達力、輸入乳製品取扱量トップクラスのシェア、  
アジアにおける製造機能(メーカー機能)
- ✓ 成長ドライバーは、機能性食品原料事業とアジアのチーズ製造販売事業
- ✓ 株主還元への積極的な取組み



# ラクト・ジャパンについて

会社名	株式会社ラクト・ジャパン
設立	1998年5月
代表者	代表取締役社長 小島 新
本社所在地	東京都中央区日本橋二丁目11番2号 太陽生命日本橋ビル22F
資本金	12億9百万円 (2024年11月30日現在)
事業内容	乳原料・チーズ、食肉加工品、機能性食品原料等の 輸入を主とする卸売および海外子会社によるチーズの 製造販売事業
上場市場	東証プライム市場 (証券コード 3139)
連結従業員数	398名 (2024年11月30日現在)



— ラクト・ジャパンの事業内容

- 乳原料・チーズ、食肉・加工品、機能性食品原料などの食品原料を輸入する専門商社



## ラクト・ジャパンが取扱う商材の用途

- 皆さまの身近な食品の原料を扱っている



アイスクリーム



ヨーグルト



チョコレート



育児用粉乳



ピザ用チーズ



ハム・ソーセージ



鶏肉加工品

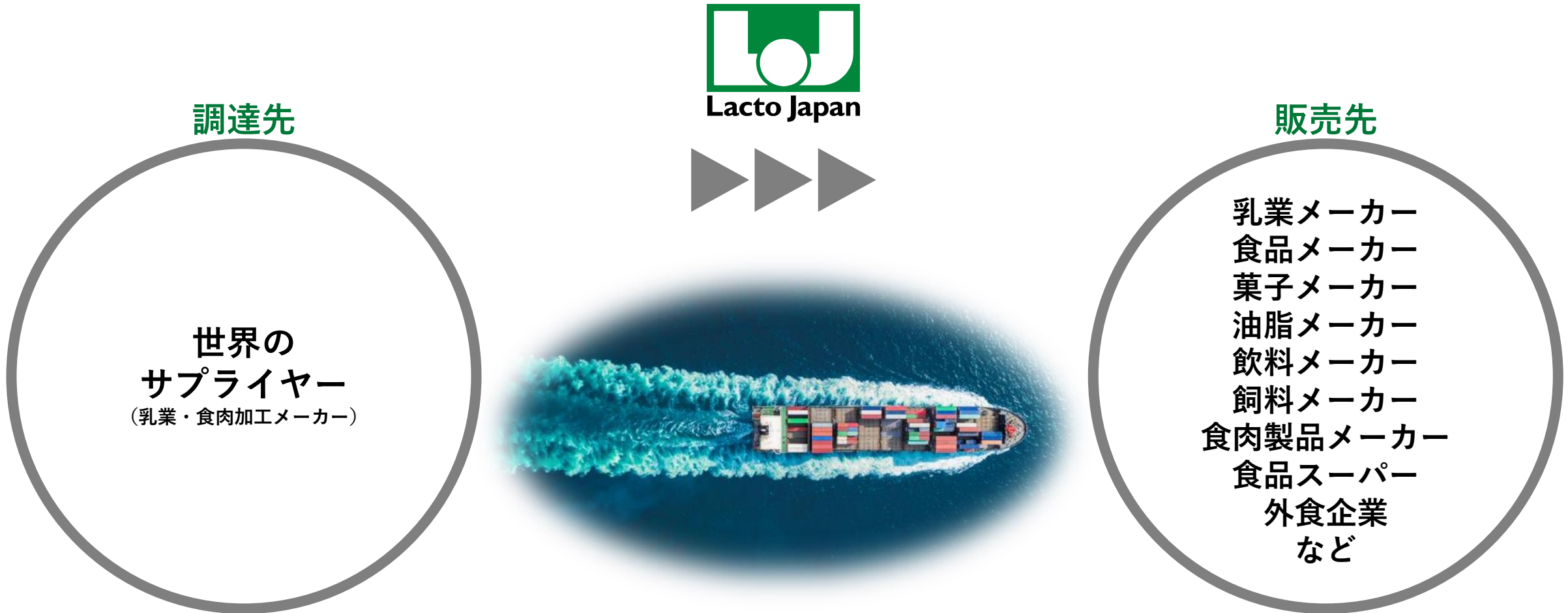


スポーツプロテイン

上記以外にもさまざまな食品用途に広く使用されており、また食品以外では飼料向けの需要もある

— メインビジネスは食品原料の輸入販売

- 複雑な関税制度、厳しい品質基準への対応しつつ、販売先のニーズに合った原料を安定的に供給



## 売上構成

### アジア事業・その他

アジア事業（乳原料販売） アジア事業（チーズ製造販売）

12.6%（215億円） 3.3%（55億円）

海外で調達した乳製品原料をアジア地域で販売するとともに、自社ブランドのチーズの製造販売も行っている。



### 機能性食品原料部門

3.0%（51億円）

乳由来の高たんぱく原料をはじめとした機能性が訴求できる商品をスポーツニュートリション業界、食品業界などへ販売。



（注）構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
また、売上高は億円未満切り捨てとして表記

### 乳原料・チーズ部門

66.8%（1,141億円）

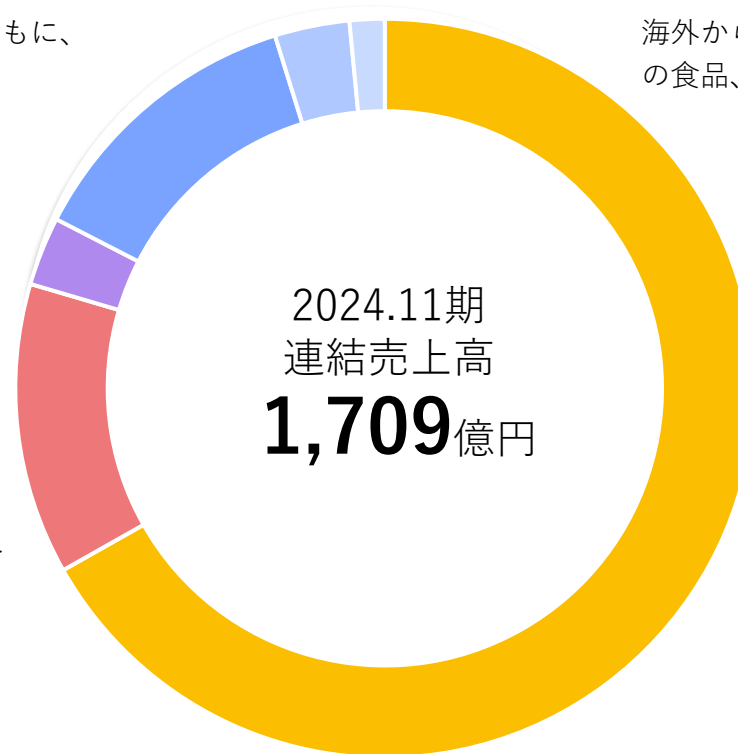
海外から乳原料やチーズを仕入れ、日本国内の乳業・菓子などの食品、飲料、飼料メーカーなどに販売。



### 食肉食材部門

12.7%（217億円）

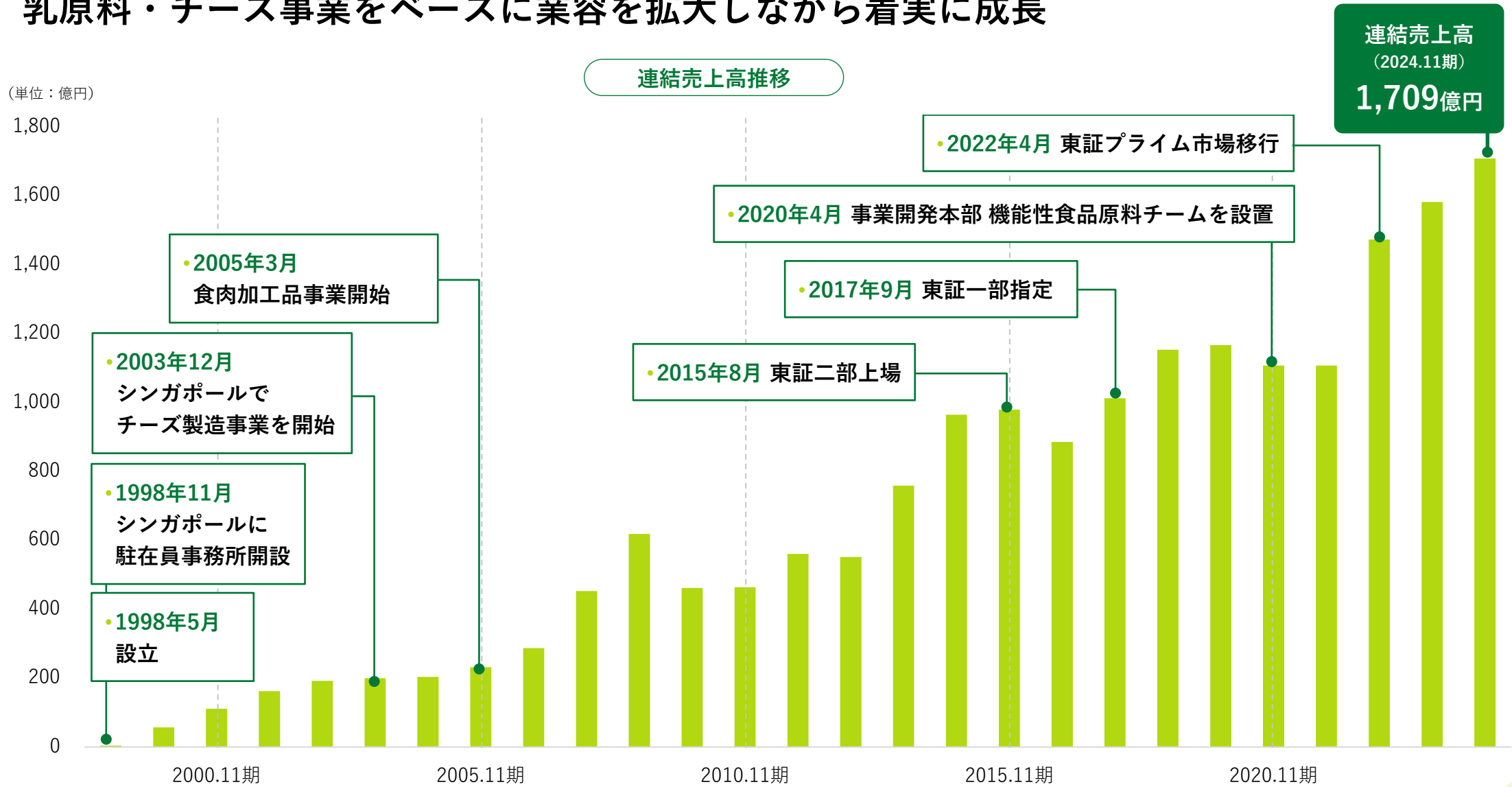
海外から豚肉を中心とした食肉と、生ハム・サラミなどの加工品を仕入れ、国内の食品メーカー、卸売会社などへ販売。



# ラクト・ジャパンの歩み

## ● 乳原料・チーズ事業をベースに業容を拡大しながら着実に成長

(単位：億円)



(注) 1998.11期～2012.11期：単体売上高／2013.11期以降：連結売上高

# ラクト・ジャパンの特徴と強みは？

—— ラクト・ジャパンの特徴と強み

01

調達力



02

輸入乳製品取扱量  
トップクラス  
のシェア



03

商社×メーカー  
(アジア事業)



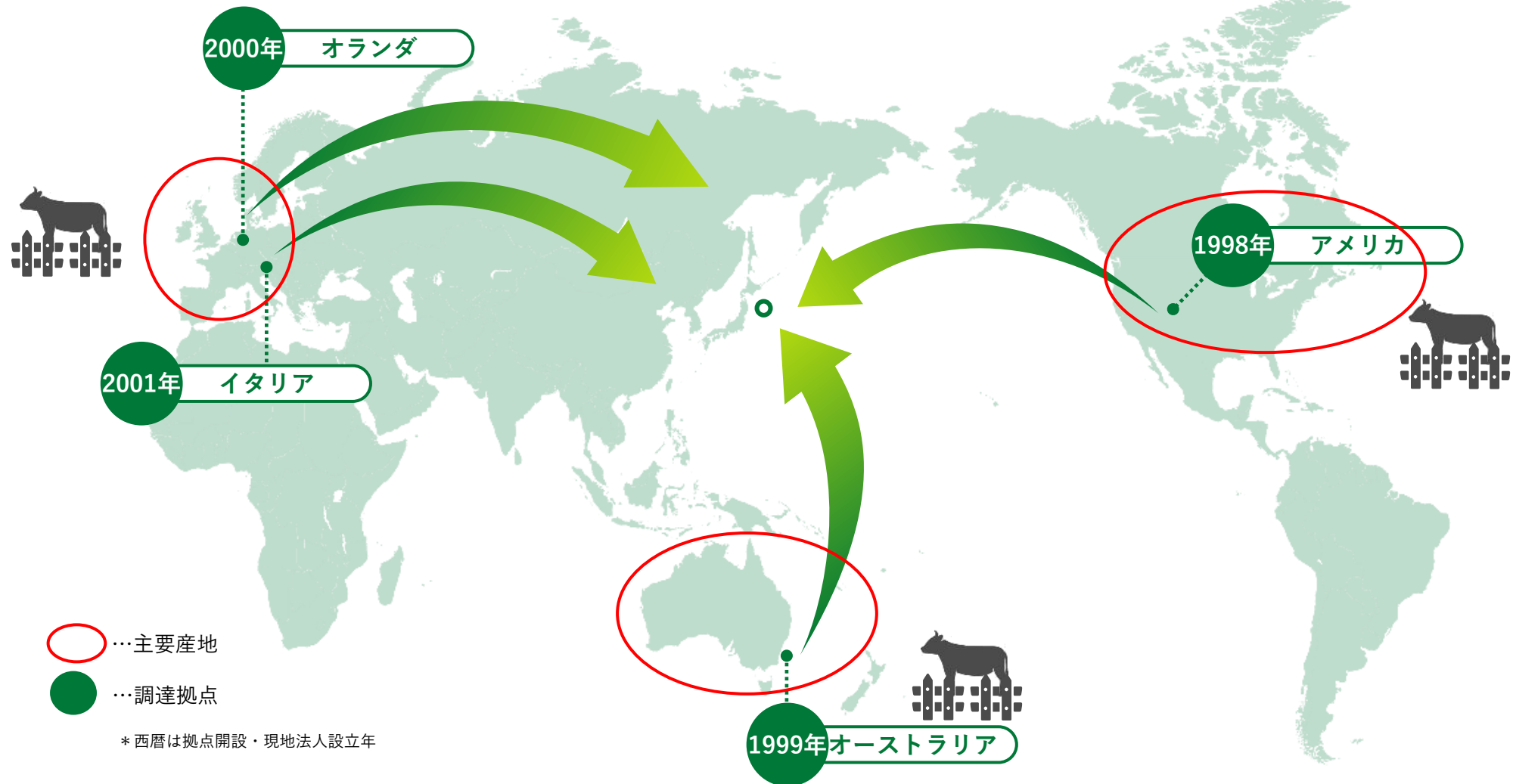


- 世界の優良なサプライヤーから乳製品原料を調達
- 多様な調達先を確保し、安定供給を担保

# グローバルな調達ネットワーク

- 世界の主要産地から乳原料を調達・主要産地には現地法人を展開

乳原料の主要産地と当社の調達拠点



02

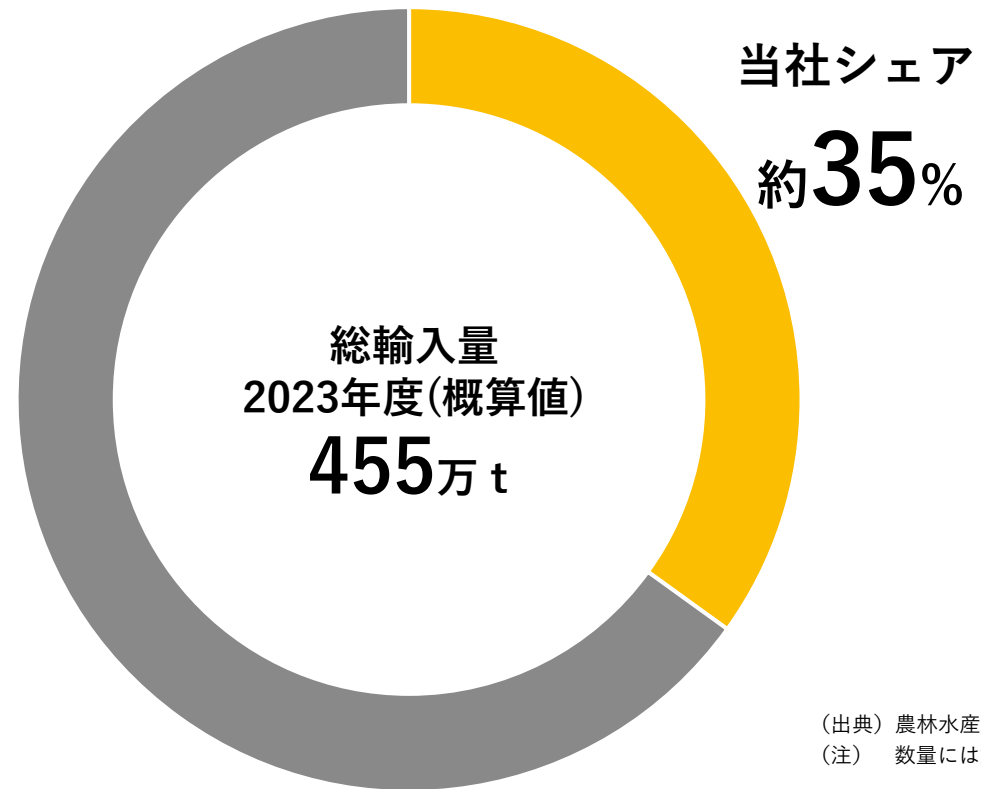
輸入乳製品取扱量  
トップクラスの  
シェア



- 国内随一の販売力を有する
- 乳製品原料に対する専門知識を有する人材が豊富

## 乳製品原料に関する高い専門性

輸入乳製品（飼料向け含む）に占める当社取り扱いシェア



(出典) 農林水産省「食料需給表」を参照のうえ当社作成  
(注) 数量には飼料用原料も含む

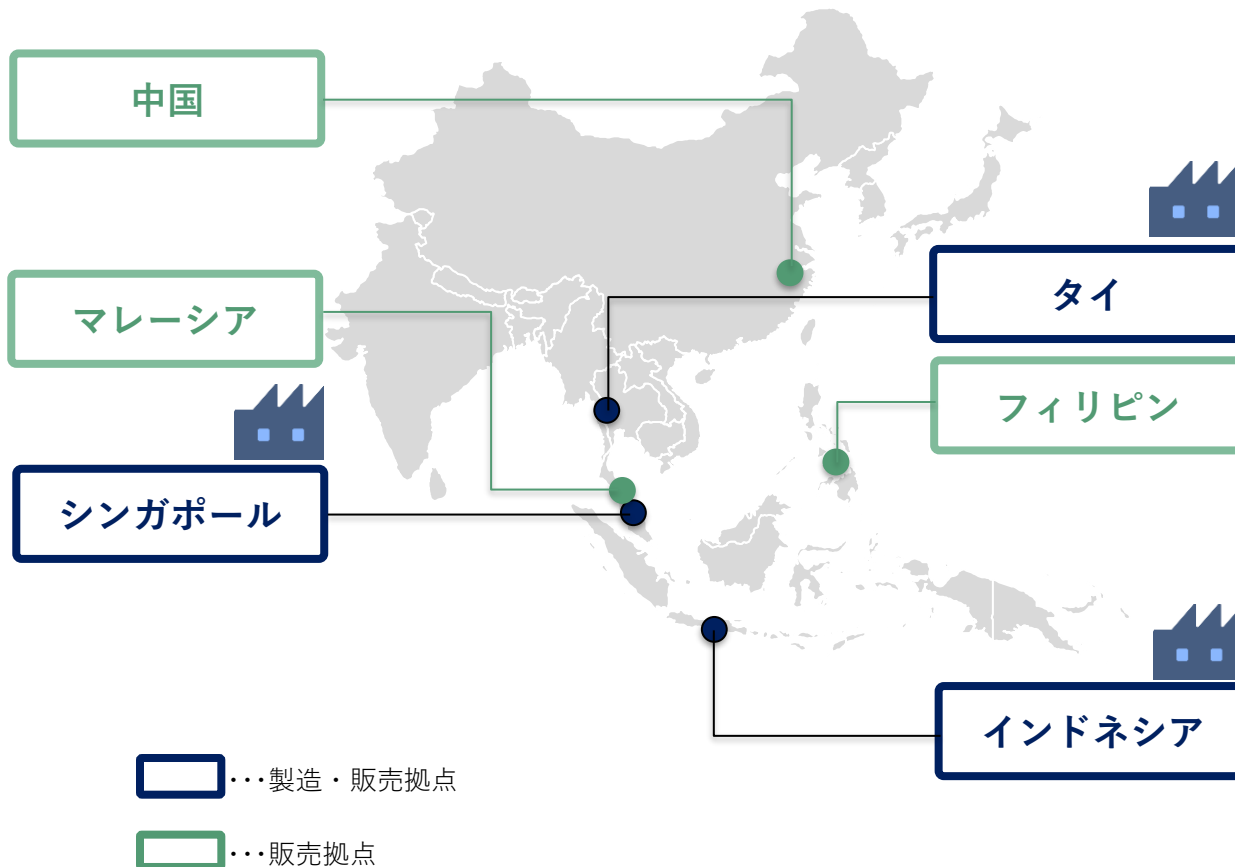


- 成長市場であるアジア地域における販売力
- 卸売業より利益率の高いメーカー事業が利益貢献

## アジアにおける商社×メーカーのハイブリッド経営

- アジアでは、乳原料販売事業に加えてチーズ製造販売事業も展開
- 自社工場で作るプロセスチーズを食品メーカーに販売

アジアにおける当社の製造・販売拠点



乳原料販売事業（商社）



チーズ製造販売事業(メーカー)



# ラクト・ジャパンの事業環境は？

# 国内の食料消費量

品目別 食料消費量(2023年度)

(単位：千トン)

12,000

10,000

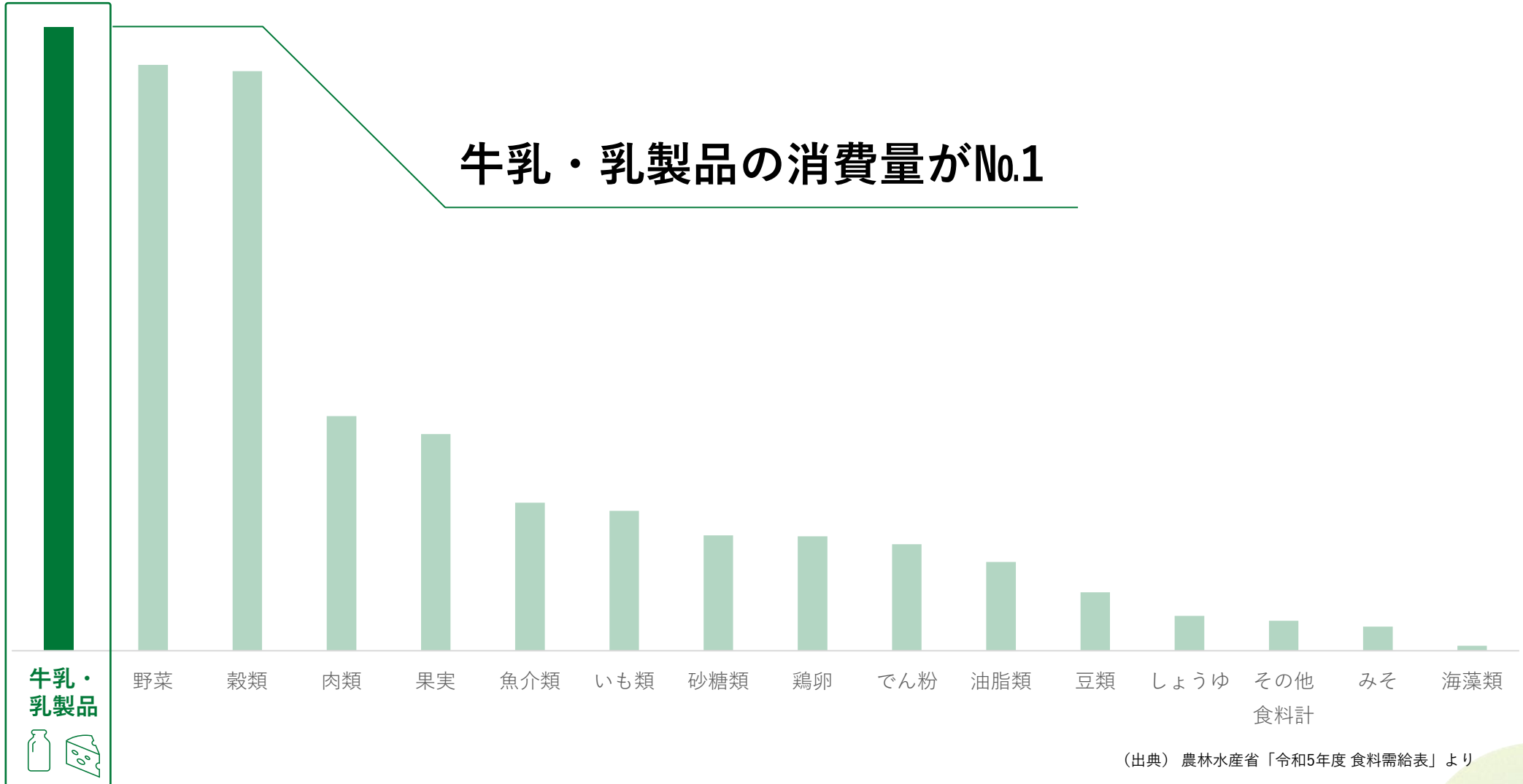
8,000

6,000

4,000

2,000

0



牛乳・乳製品の消費量がNo.1

牛乳・乳製品

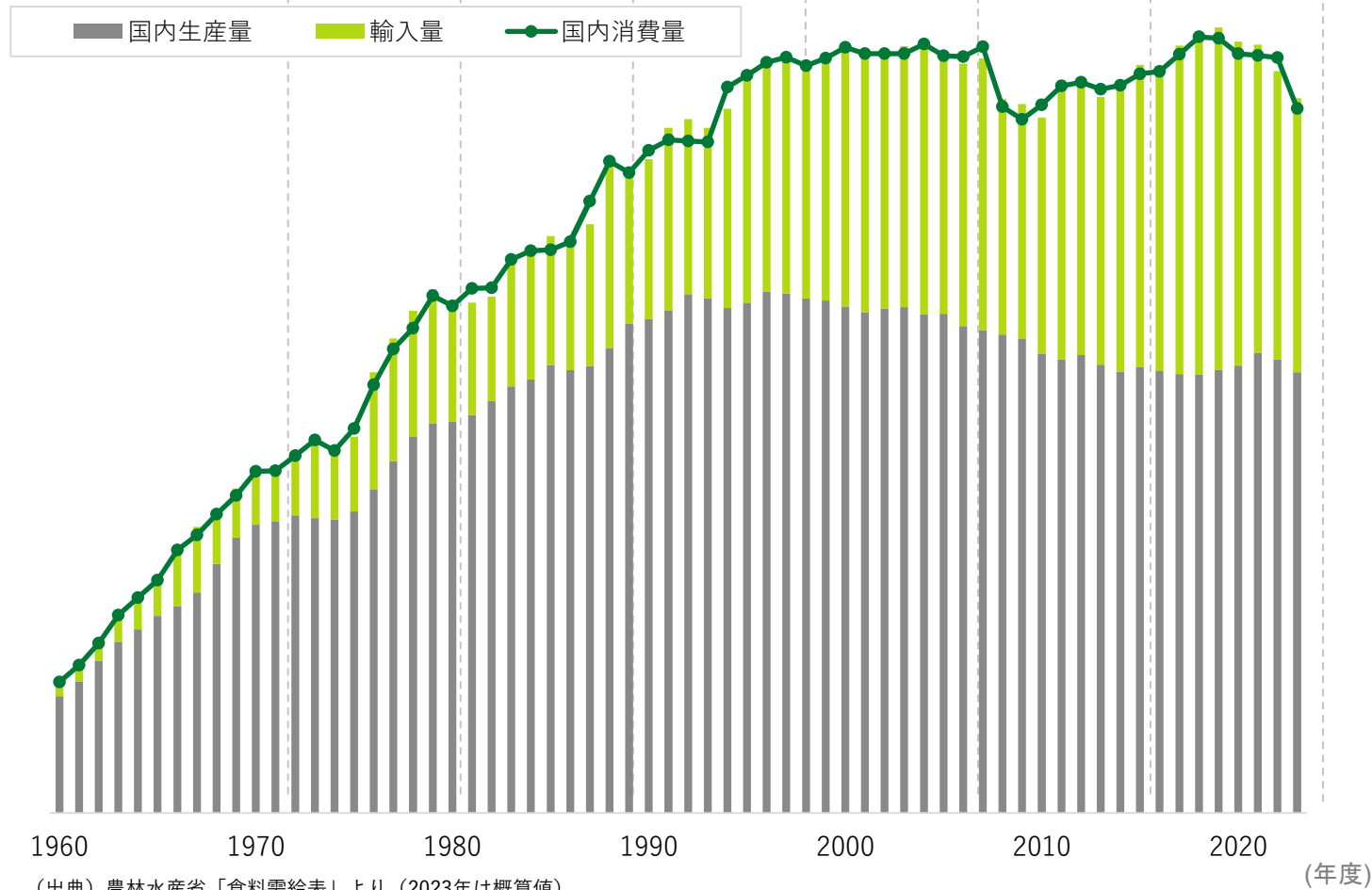


(出典) 農林水産省「令和5年度 食料需給表」より

# 乳製品の消費・国内生産・輸入量のバランス

●消費される乳製品原料は、約38%が輸入でまかなわれている

牛乳・乳製品消費量と国内生産・輸入の状況



2023年度：

国内消費量

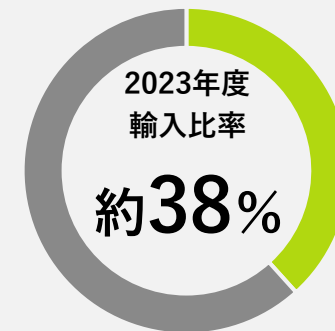
1,170万t

輸入量

455万t

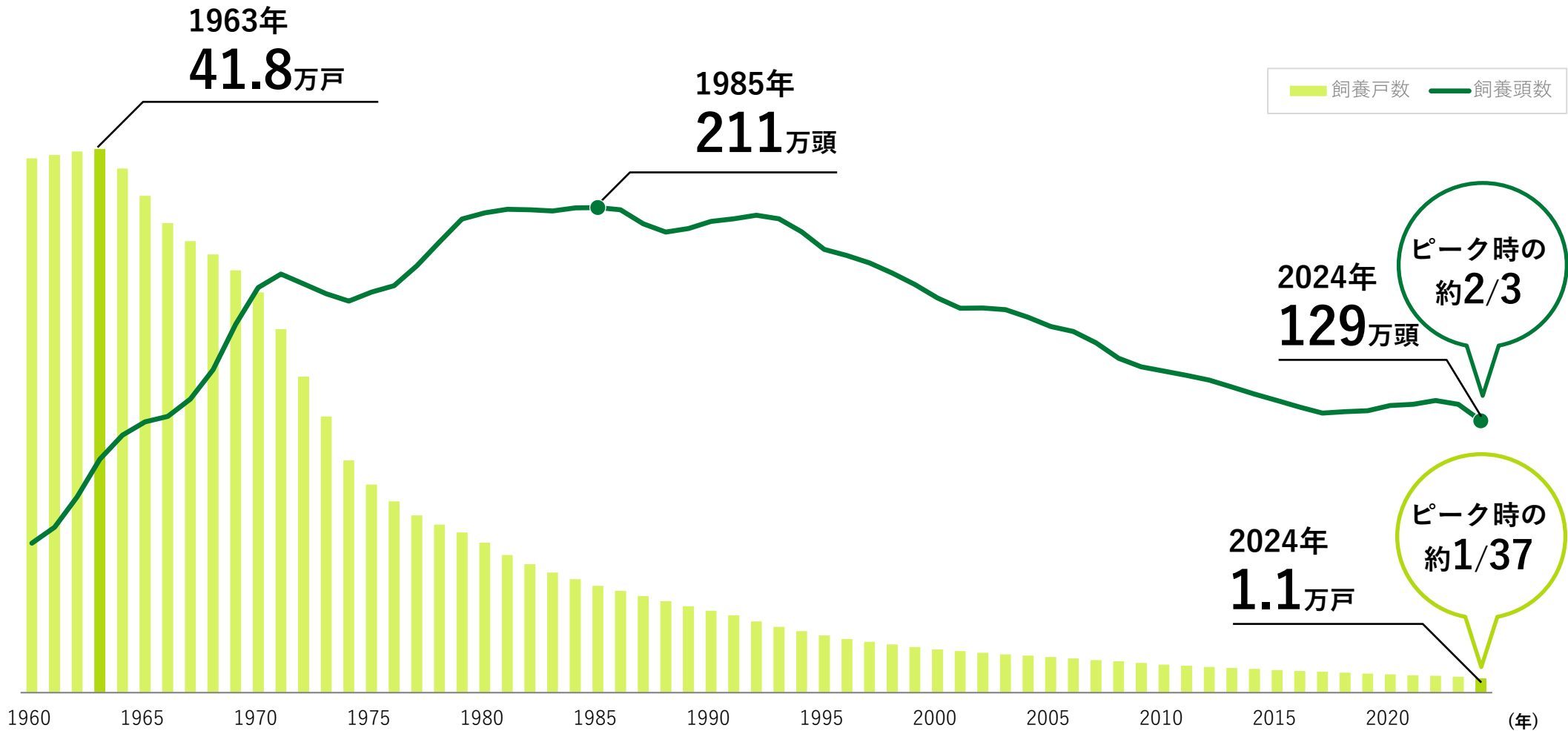
国内生産量

732万t



(出典) 農林水産省「食料需給表」より (2023年は概算値)  
(注) データは生乳換算、食料+飼料用合算値

乳用牛飼養戸数・頭数



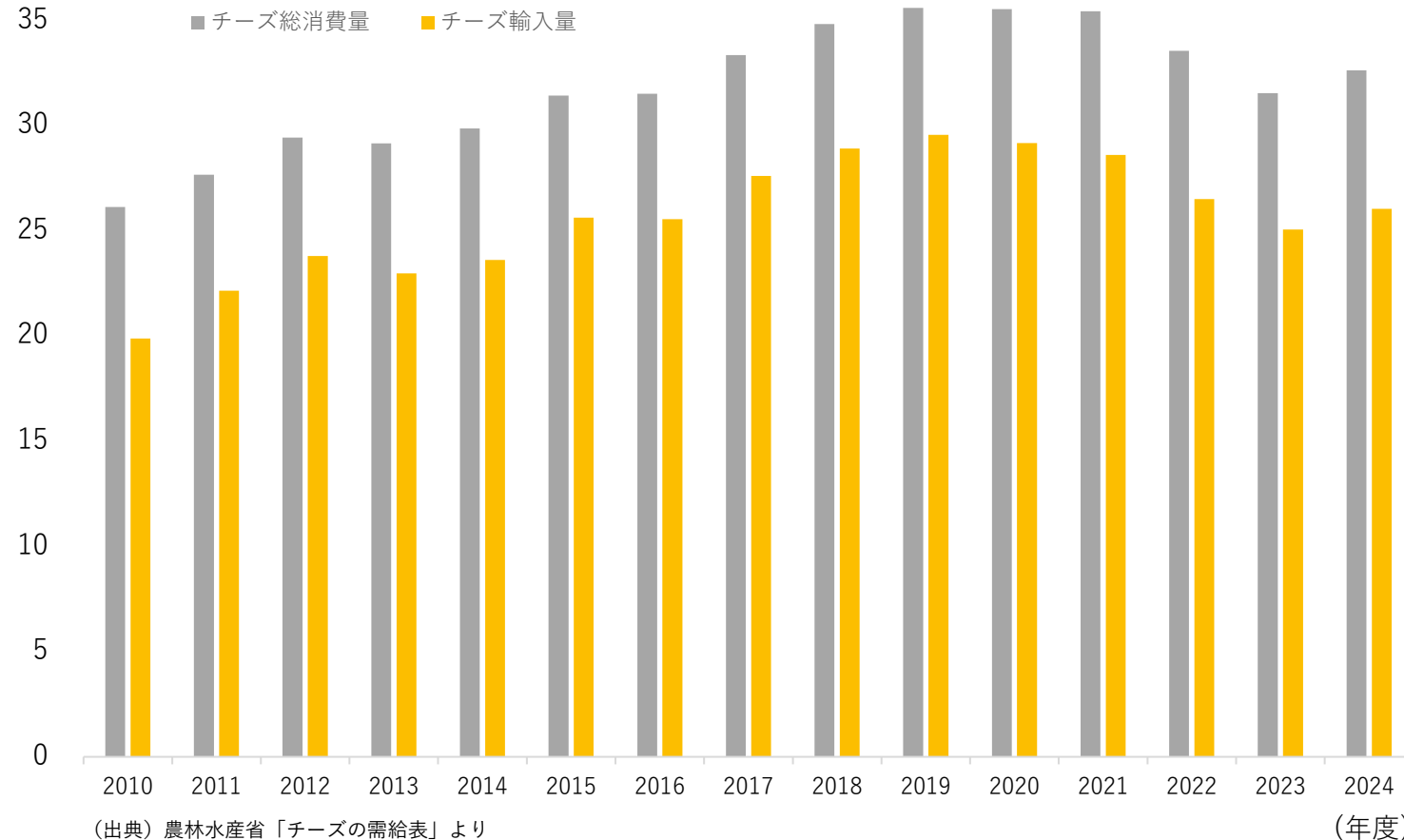
(出典) 農林水産省 畜産統計「乳用牛飼養戸数-頭数累年統計」より

# チーズの消費量と輸入量

## ● チーズ消費量の80%は輸入原料でカバー

日本のチーズの消費量と輸入量推移

(単位：万トン)



(出典) 農林水産省「チーズの需給表」より

(注) ①「輸入比率」はチーズ総消費量に占めるチーズ輸入量（ナチュラルチーズ+プロセスチーズ）の比率  
 ② 最新年度は速報値。

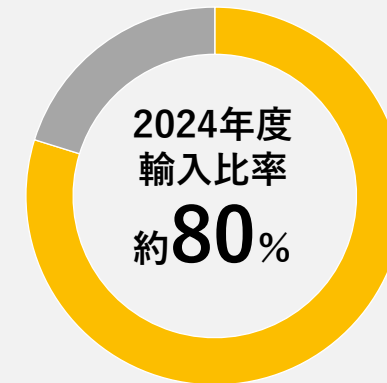
2024年度：

国内消費量

約33万t

輸入量

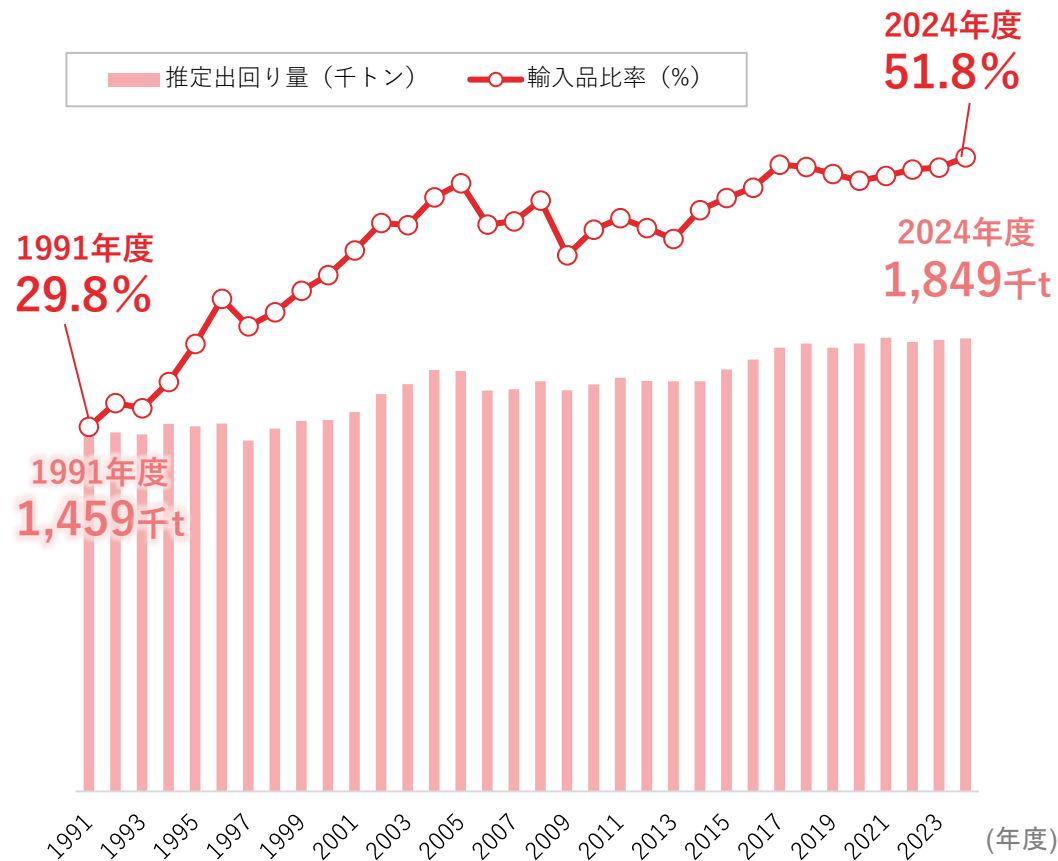
約26万t



## 畜産業（豚）の状況

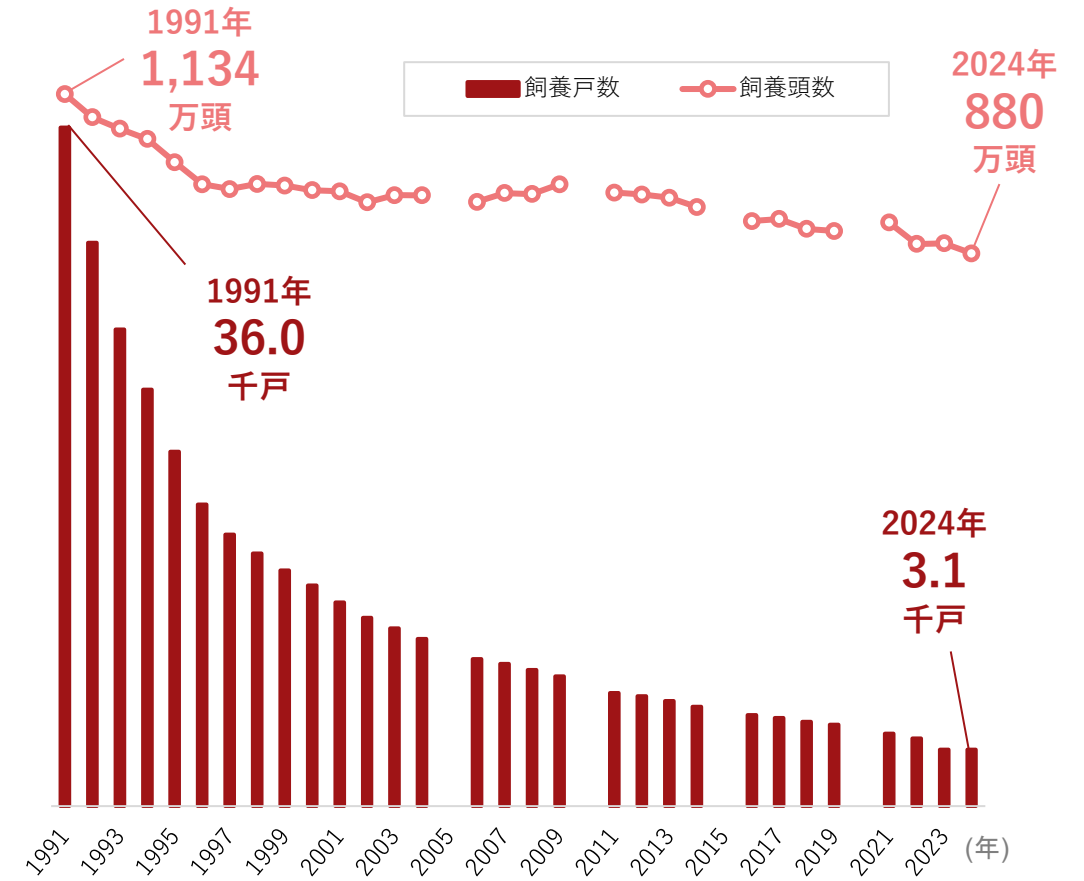
● 豚肉の約50%は輸入品。酪農業と同様に豚の飼養戸数も減少傾向が続く

豚肉の需要(出回り量)と輸入品比率



(出典) 「豚肉需給表」 (独法) 農畜産業振興機構より

豚の飼養戸数・頭数



(出典) 「豚の飼養動向」 (独法) 農畜産業振興機構より

1. 各年2月1日現在
2. 2005年、2015年および2020年は農林業センサス、2010年は世界農業センサス実施年のため調査休止。

## さらなる成長に向けた取組み

## 成長分野

Point 1 機能性食品原料事業

Point 2 アジア・チーズ製造販売事業

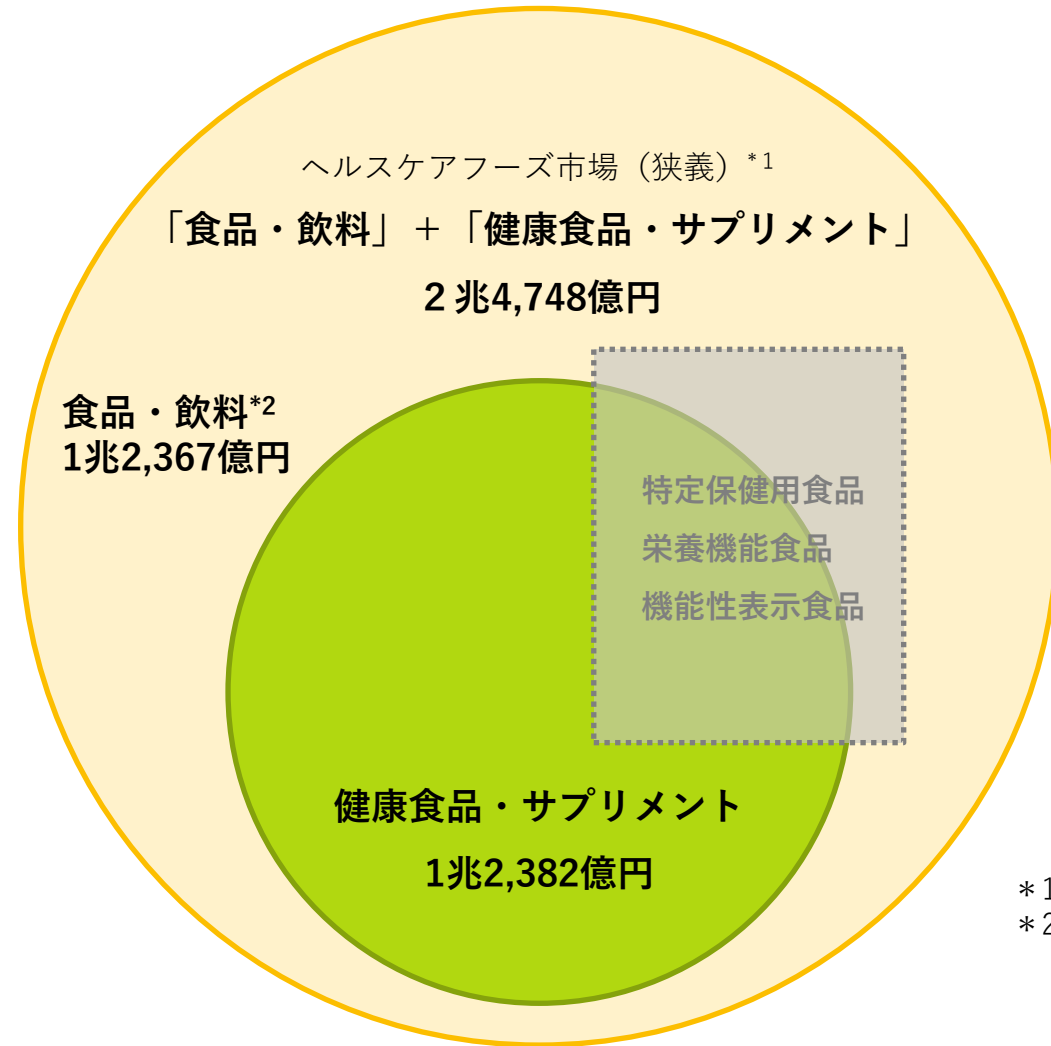
## 成長分野

Point 1 機能性食品原料事業

Point 2 アジア・チーズ製造販売事業

Point 1 機能性食品原料事業：将来的に狙う市場は「健康」を軸とした食品市場全般

ヘルスケアフーズ市場（狭義）規模（推計）

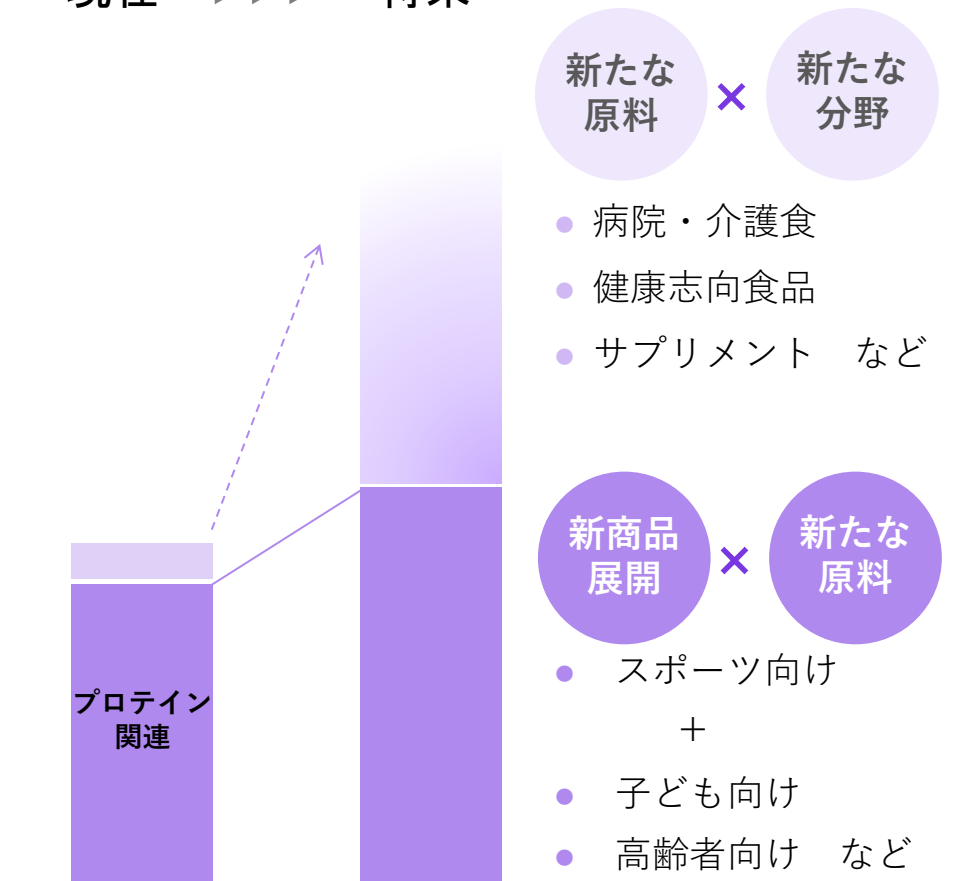


\*1：医薬品および下記2記載品除く  
 \*2：生鮮食品、聴取品目外加工食品を除く

# Point 1 機能性食品原料事業：事業拡大に向けた施策

機能性食品原料事業 売上高構成イメージ

現在 ▶▶▶ 将来



## 事業拡大に向けた施策

- 引き続き拡大が見込まれるプロテイン市場に向け、高たんぱく以外の機能性など、付加価値を高めるための提案を強化（多様な機能性原料の提案）
- 取扱商品の幅を広げ「健康」を軸に、新たな分野へ事業を展開

プロテイン関連以外の原料販売を増やし  
売上拡大を目指す

## 成長分野

Point 1 機能性食品原料事業

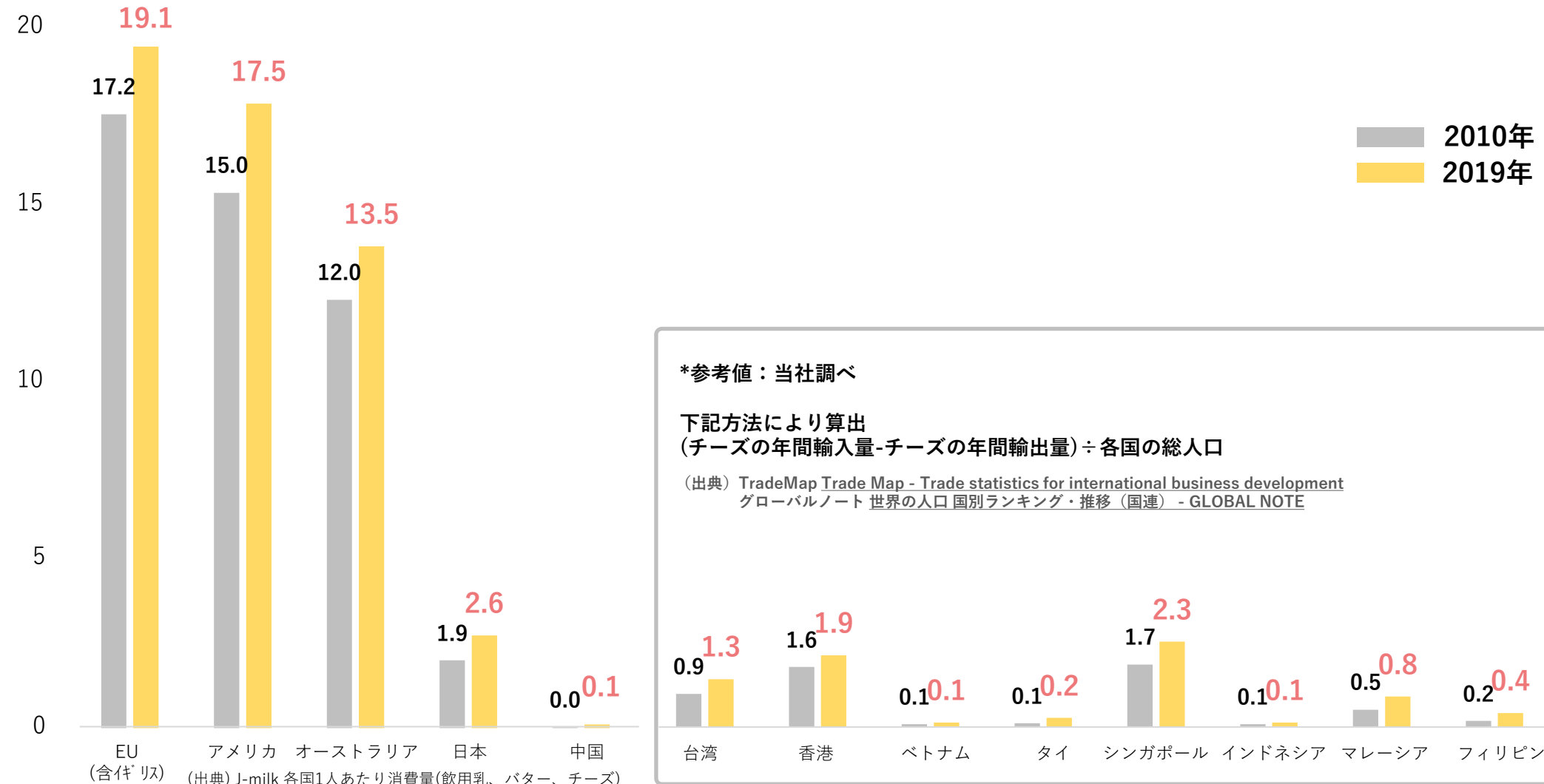
Point 2 アジア・チーズ製造販売事業

## Point 2 アジア・チーズ製造販売事業：アジア地域のチーズ消費量推移

### ● アジア地域のチーズ消費量は今後さらなる拡大が見込まれる

1人あたりチーズの消費量(地域別/国別)

(kg/1人あたり)



\*参考値：当社調べ

下記方法により算出  
 $(\text{チーズの年間輸入量} - \text{チーズの年間輸出量}) \div \text{各国の総人口}$

(出典) TradeMap Trade Map - Trade statistics for international business development  
 グローバルノート 世界の人口 国別ランキング・推移 (国連) - GLOBAL NOTE

(出典) J-milk 各国1人あたり消費量(飲用乳、バター、チーズ)  
<https://www.j-milk.jp/gyokai/database/data/3050500.xlsx>

## Point 2 アジア・チーズ製造販売事業：当社シンガポール新工場について

### 完成予想図



### 事業拡大に向けた施策

- 東南アジアの需要拡大に対応するため、チーズ製造体制の拡充を計画。

2026年11月期より新工場稼働予定。

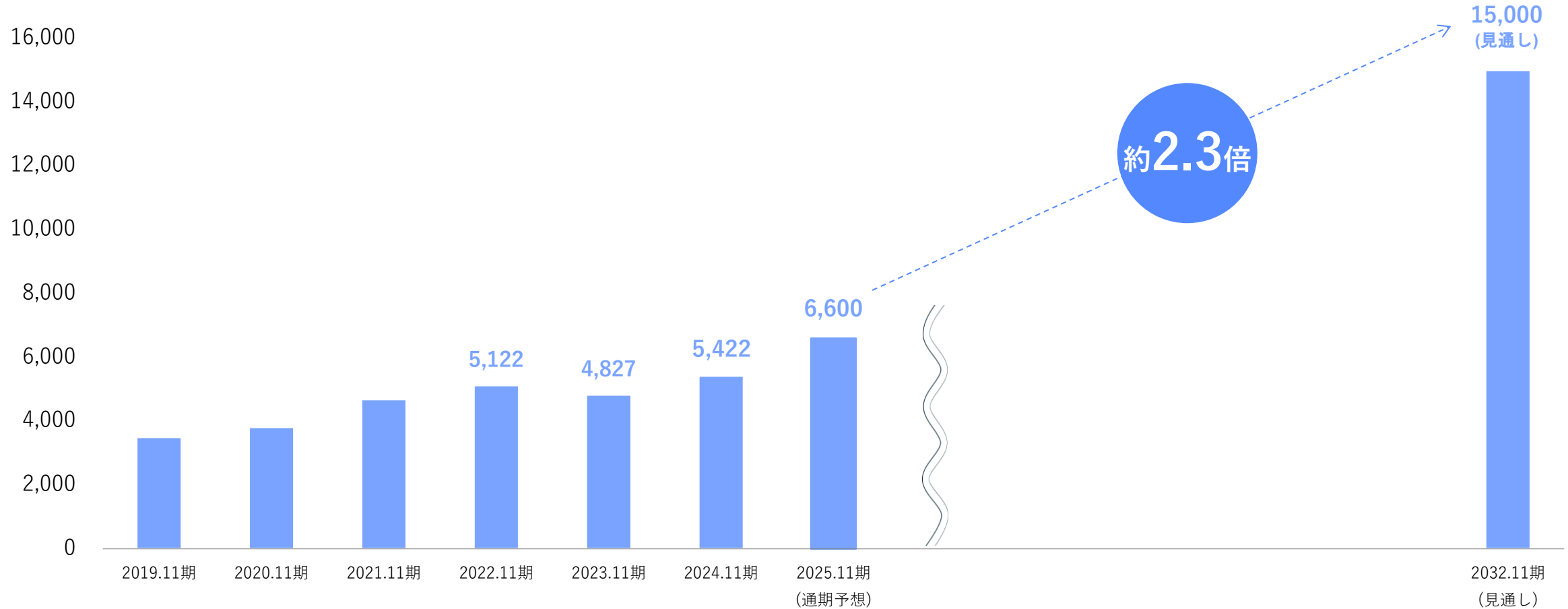


チーズ製造販売事業の売上拡大を目指す

## Point 2 アジア・チーズ製造販売事業：チーズ製造販売部門の販売数量見通し

チーズ製造販売事業 販売数量

(単位：トン)



# 2025.11期 中間期連結業績および通期連結業績予想について

## 2025年11月期 中間期 連結業績概要

- 中間期の売上・利益としては、過去最高を更新。全部門で前年同期の売上を上回り好調な業績進捗。一過性の営業外収益を除いても経常利益は過去最高益。

	2024.11期 中間期	期初予想	2025.11期 中間期		
			実績	前期比 (%)	期初予想比 (%)
(単位：百万円)					
売上高	84,560	86,000	95,293	+12.7	+10.8
経常利益	2,260	2,300	3,832	+69.5	+66.7
経常利益率 (%)	2.7	2.7	4.0	—	—
経常利益に含まれる 為替影響額※	(△24)	—	(78)	—	—
為替影響額修正後 経常利益	(2,285)	—	(3,754)	(+64.2)	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,654	1,700	2,797	+69.1	+64.5
中間純利益率 (%)	2.0	2.0	2.9	—	—
1株あたり中間純利益(円)	165.97	170.71	280.78		
為替レート(円/USD)	149.95	—	150.14		
為替レート(円/EUR)	162.47	—	161.27		

(注) 財務数値の表示は端数切捨て、増減率は四捨五入しております。

※経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。そのため売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております。

## 2025年11月期 通期連結業績予想の修正

- 中間連結会計期間の業績進捗および足元の受注動向を勘案し、7月9日に通期業績予想と期末配当予想を上方修正。通期も過去最高益を目指す。

	2024.11期 実績	2025.11期			
		期初予想	修正予想	前期比増	前期比 (%)
(単位：百万円)					
売上高	170,907	180,000	<b>188,000</b>	+17,092	+10.0
経常利益	4,320	4,600	<b>6,000</b>	+1,679	+38.9
経常利益率 (%)	2.5	2.6	<b>3.2</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,146	3,300	<b>4,350</b>	+1,203	+38.3
当期純利益率 (%)	1.8	1.8	<b>2.3</b>	—	—
<hr/>					
1株あたり当期純利益 (円)	315.83	331.38	<b>436.47</b>	+120.64	
1株あたり配当金 (円)	年額	80.00	100.00	<b>132.00</b>	+52.00
	中間	31.00	50.00	<b>50.00</b>	+19.00
	期末	49.00	50.00	<b>82.00</b>	+33.00

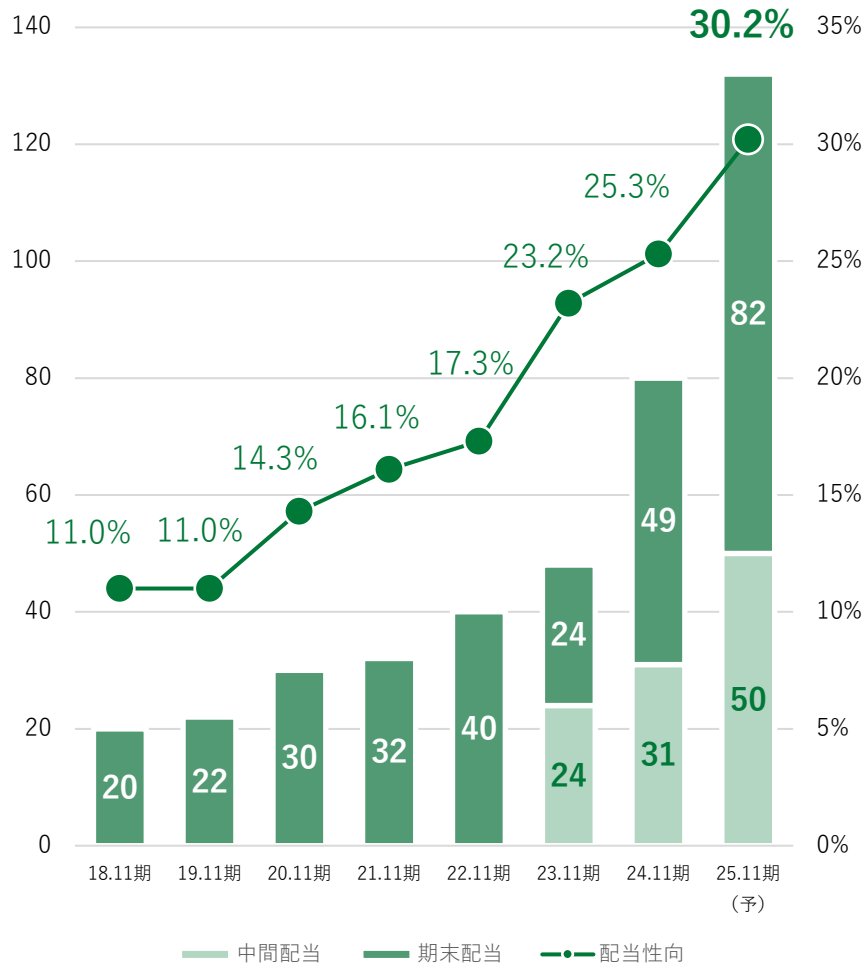
(注) 財務数値の表示は端数切捨て、増減率は四捨五入しております。

# 株主還元と株主優待について

# 株主還元について

## 1株あたり配当金および配当性向

(単位：円)



(注) 配当額は、2019年5月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を2株に分割）を考慮して記載

## 株主還元の方針

- 株主の皆さまに対する適切な利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けている。
- 将来の成長のために必要な投資資金と内部留保を確保しつつ、株主還元の強化に取り組むことを基本方針とする。

株主優待制度

コース名	保有株式数	優待内容	
		継続保有期間 2年未満	継続保有期間 2年以上（*）
Aコース	100株以上 300株未満	優待対象外	当社選定カタログに記載する3,000円相当の商品の中から、ご希望の商品を1点選択
Bコース	300株以上	優待対象外	当社選定カタログに記載する5,000円相当の商品の中から、ご希望の商品を1点選択

\*継続保有期間2年以上とは、株主名簿基準日（11月30日および5月31日）時点で100株以上または300株以上を保有し、すべての基準日時点の株主名簿において、同一株主番号で5回以上連続して記載された株主さまをいいます。なお、連続記載の回数は、100株もしくは300株を保有された時点からカウントします。



# (ご参考) 2024年度の優待カタログ：Aコース3,000円相当

商品番号 LJ14-001



チーズの王様と呼ばれ高い知名度を誇るイタリアのパルミジャーノレジャーノから、クリームチーズやゴダチーズまでバラエティ豊かに各種取り揃えました。

〈三祐〉  
チーズセット

レジャーノ150g  
ブリー115g  
オーストラリアクリームチーズ200g  
オランダゴダ200g  
賞味期間は冷蔵で30日

冷蔵便



商品番号 LJ14-002



新鮮な生乳で作った長門牧場アイスクリーム。生乳の風味がわかるバニラ、信州産にこだわったあんずやいちご、牧場のドリンクヨーグルトを使ったフロズンヨーグルトなどをセットにしました。

〈長門牧場〉  
アイスクリーム8個セット

バニラ・抹茶120ml×各2、チョコレート・信州産あんず・信州産いちご・フロズンヨーグルト120ml×各1

冷凍便



商品番号 LJ14-003



創業100年以上の町村農場の自家産生乳から作ったバター。豊かな風味と後味で、全国に愛好者がいる逸品です。パンにたっぷり塗ってお召し上がりください。

〈町村農場〉  
特製新鮮純良バターセット

新鮮純良バター 200g×2

冷蔵便



商品番号 LJ14-005



バターをふんだんに使った生地を焼きあげ、ロール状に巻いた濃厚なバターの風味が魅力のシガールをはじめ、上品な甘さのクッキーが変わらぬ人気を誇ります。

〈ヨックモック〉  
アソルティモンドゥ ビスキュイ

シガール×18本  
ドゥブル ショコレオレ×18枚  
※お届けは3月15日～10月15日

常温便 小 中 大



商品番号 LJ14-004



北海道産クリームチーズや、十勝産生クリームなどをたっぷり使用し、北海道の原料にこだわって作った風味豊かな3種セットです。食べくらべて、色々な味わいをご賞味ください。

十勝四角いチーズケーキ

バイクドチーズケーキ・レアチーズケーキ・  
ニューヨークチーズケーキ×各1個(約12cm)

冷凍便 小 中 大



商品番号 LJ14-006



直下式炭火製法で燻したソーセージと、ドイツ岩塩で塩漬けして塩かどなくまるやかな味わいに仕上げたスモークタイプの生ハムのセットです。

〈トンデンファーム〉  
トンデンファーム詰合せ

骨付ソーセージ180g、荒挽ウイナー120g、  
生ハムロース(スライス)40g、スティッククラウ  
ウ80g、荒挽ソーセージ70g

冷蔵便



【アレルギー物質の表示について】 食品衛生法がラベルへの表示を義務付けている、「特定原材料8品目」のアレルギー物質について、商品に含まれる品目をマークで記載しております。  
 ①…小麦を含んでいる商品 ②…卵を含んでいる商品 ③…乳を含んでいる商品 ④…そばを含んでいる商品 ⑤…えびを含んでいる商品 ⑥…かにを含んでいる商品 ⑦…落花生を含んでいる商品 ⑧…くるみを含んでいる商品

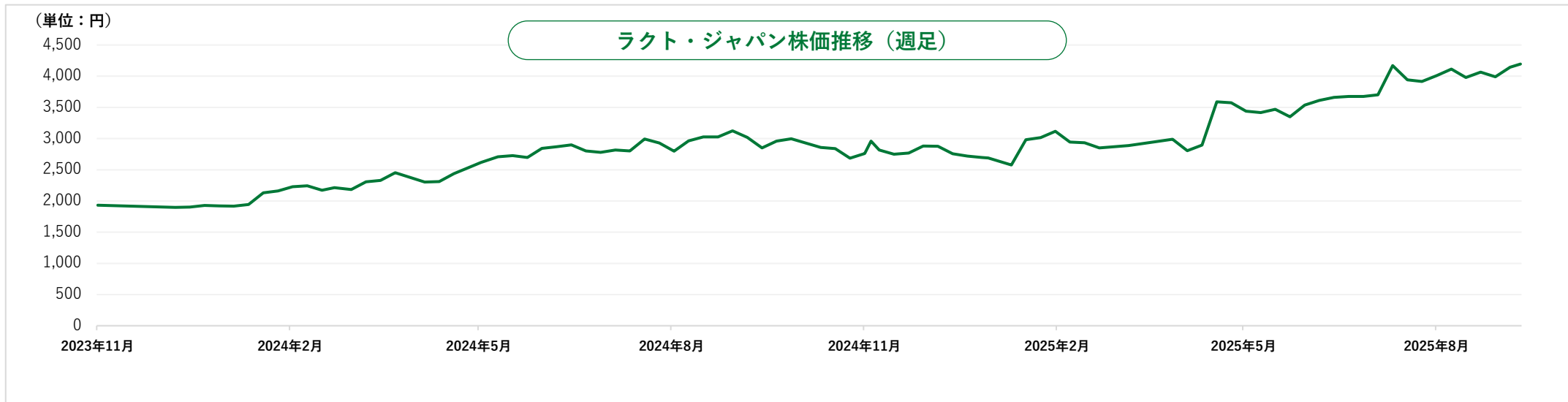
# 投資の基本情報

市場	東証プライム市場
証券コード	3139
単元株数	100株
1株あたり配当金 (予)	132円
PER (連結・予)	9.61倍
PBR (連結)	1.42倍
ROE (連結)	12.1%
株主優待	あり

直近の株価

**4,195円**  
(2025年9月10日終値)

最低購入代金 419,500円



(注) 上記の1株あたり指標は2025年9月10日の終値ベース  
PBR、ROEは2024年11月期末ベース

## 今後の重要な課題・目標

- ✓ 乳製品・調達機能の強化、高資本効率・高利益率取引の増加
- ✓ 健康志向が高まり需要増加が見込める機能性原料の拡販
- ✓ 食の西洋化が進むアジアで増加するチーズ需要の取り込み
- ✓ さらなる企業価値向上、株主還元の強化



## ご注意事項

本資料には、当社の戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。

これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

経営環境の変化など、さまざまな要因により変更されることがあります。

あらかじめご了承ください。

# 質疑応答

---



株式会社ラクト・ジャパン  
コーポレートサイト